

排水トンネルの機能維持により、地すべりの被害を防止する

【対策】81 砂防関係施設の長寿命化対策

対策概要:「予防保全型の維持管理」への転換に向けて、要対策施設等の対応及びライフサイクルコストの縮減につながる取組を推進するため、長寿命化計画に基づき砂防関係施設の修繕・改築等を実施する。

府省庁名:国土交通省

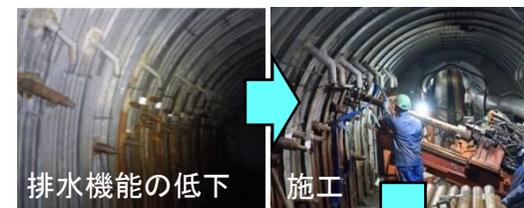
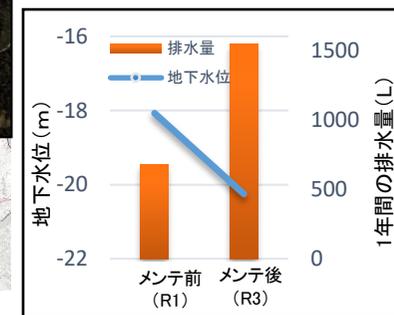
【事例】^{じんのすけだに}甚之助谷地区直轄地すべり対策事業

- 実施主体:北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
- 実施場所:石川県白山市
- 事業概要:甚之助谷地区は、霊峰白山の西側斜面に位置し、昭和9年には地すべりが発生し、死者97名という甚大な被害をもたらした。当地区では、下流域への甚大な被害を防止する観点から、地すべり対策事業に取り組んでおり、地すべりを引き起こす要因のひとつである地下水を排除する地下水排除工等を実施。具体的には、地下水排除施設である集水ボーリング管は、時間経過とともに沈殿物による目詰まり等が発生し、排水量の減少により地すべり発生の危険性が高まっていたため、集水ボーリングの追加及び既設集水ボーリング孔の洗浄を実施。
- 事業費:約16億円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約2億円)
- 効果:排水量が回復・上昇した結果、令和4年8月豪雨では連続雨量157mmを経験したが、**地すべり運動が発生せず、下流域の安全が確保された。**

地すべり対策 未実施の場合



メンテナンスにより排水機能を回復させることにより、地すべりを誘発する地下水位を低下させることに成功



追加集水ボーリング



既設集水ボーリング孔の洗浄